

伊賀市「事務事業評価」結果総括シート〔2次評価シート〕

(1)政策	コード	名称
	3	(3)必要なときに支えがある安心なまちづくり

(2)基本施策	コード	名称
	6	③高齢者の健やかな生活を支える

(3)生活課題	6	ひとり暮らしの老人が孤独感なく、体調などを確認してもらいながら生活できる。
---------	---	---------------------------------------

(4)評価実施年度	平成 21 年度
(5)評価責任者職名	健康福祉部長
(6)評価責任者氏名	中出 富一
(7)評価者	

(9) 継続・新規 (21,22,23,24)	コード	(10)事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12)事業費(千円)			(13)H22投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)	指標の数値		(17) 指標の単位	(18) 評価 類型	1次評価結果						2次評価						(33)その他の改革 改善点について			
					H20 決算額	H21 予算 額・補 正要求 額	H22 要求 見込額	人	人件費		(14)指標名	(15) 20年度 (実績)			(16) 22年度 (目標)	個別評価				(23) 総合 評価	(24) 方向性	(25) 1次評 価修正 有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善 案修正の 有・無	(29) 修正点		(30) 優先 度 区分	(31) 方向 性	(32) 方向性の評価につ いて
																(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性											
継続	311	老人クラブ活動助成	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	16,165	16,184	15,302	0.1	720	老人クラブ加入者数	18111	18500	人	I	4	3	3	3	A	縮小	無			無		1G	c		事業内容の点検項目 のチェックによる補助 チェックが必要である。	
継続	312	老人日常生活用具給付事業	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	92	155	155	0.1	720	利用者数	8	10	実人員	I	4	4	3	4	B	現状維持	無			無		4G	e	費用対効果の検討を すべきである。		
継続	314-01	移送サービス事業	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	27,057	26,200	26,200	0.3	2,160	利用件数	23153	22000	件	I	4	4	4	3	A	現状維持	無			無		1G	b		事業所の維持及び拡大について検討が必要である。	
継続	314-02	生きがい活動通所支援事業	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	1,628	1,725	1,725	0.1	720	利用者数	32	40	人	I	4	3	3	4	A	現状維持	無			無		2G	b			
継続	314-03	緊急通報装置設置事業	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	3,035	3,033	5,130	0.1	720	設置台数	131	120	件	I	4	4	4	4	A	現状維持	無			無		2G	b		要援護者システムの構築を急ぐ必要がある。	
継続	314-05	訪問理美容サービス事業	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	54	50	55	0.1	720	利用件数	54	55	件	I	4	4	4	4	A	現状維持	無			無		3G	c			
継続	314-06	寝具洗濯乾燥事業	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	138	225	150	0.1	720	利用実人員	13	20	人	I	4	3	3	4	A	現状維持	無			無		3G	c			
継続	314-07	軽度生活援助事業	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	65	94	100	0.1	720	利用実人員	6	10	人	I	4	3	3	3	A	現状維持	無			無		3G	d			
継続	450	在宅要介護者歯科保健推進事業	130900	健康福祉部 健康推進課	392	333	333	0.1	720	再受診者	1	1	人	I	4	4	4	3	A	現状維持	無			無		4G	d	費用対効果の検証により、廃止の方向を検討すべき。		
21新規	2105	生活・介護支援サポーター養成事業	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	0	3,600	3,600	0.1	720	養成された訪問員の数		15	人	I	4	4		4	A		無			無		1G	a		サポーター養成員の活用場を考える必要がある。	
22新規	2211	信楽荘改築事業	130500	健康福祉部 介護高齢福祉課	0	0	54,098	0.1	720	説明会参加人数		100	人	I	4	4		4	A		無			無		2G	f			

2次評価														(33)その他の改革 改善点について
(25) 1次評価修正有・無	(26)修正点	(27)修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	(32) 方向性の評価について							
無			無		1G	c								
無			無		4G	e	費用対効果の検討をすべきである。							
無			無		1G	b	事業所の維持及び拡大について検討が必要である。							
無			無		2G	b								
無			無		2G	b	要援護者システムの構築を急ぐ必要がある。							
無			無		3G	c								
無			無		3G	c								
無			無		3G	d								
無			無		4G	d	費用対効果の検証により、廃止の方向を検討すべき。							
無			無		1G	a	サポーター養成員の活用場を考える必要がある。							
無			無		2G	f								